

株式会社ヘルツ

リモコンキット

[HPB-030T3D]

取扱説明書

1.リモコンキット概要

- ・最大 8 個までの記憶が可能です。
- ・任意のボタンにマクロ設定が可能です。
- ・1 つのマクロには最大 10 個のボタンを登録できます。
- ・記憶及びマクロは単体で消去可能です。
- ・記憶内容及びマクロ設定を全て消すことも可能です。
- ・マクロ設定の際、インターバル時間を自由に設定できます。
- ・お客様の方で好きなスイッチを取り付けることが可能です。

マクロ機能とは

ボタンを 1 つ押すだけで、最大 10 ステップまでの操作プログラムを実行する機能です。

たとえば、8 のボタンに 1 , 2 , 3 , 4 , 5 のボタンを組み込んだ場合、8 のボタンを押すと自動で 1 , 2 , 3 , 4 , 5 のボタンを押すのと同じ動きを行います。

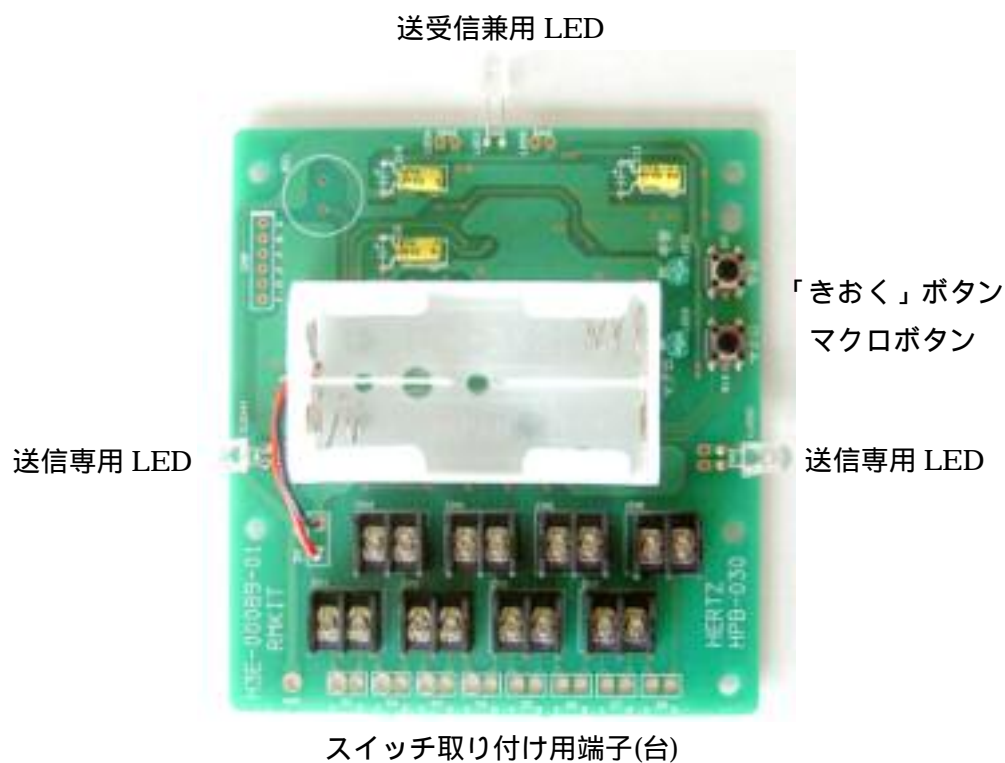
詳しくは、「マクロ設定方法」を御覧下さい。

基板のみをご購入いただいた場合、ボタンが取り付けありませんので、お客様の方で端子の所にスイッチを半田付けして下さい。

端子台付きの商品をご購入いただいた場合、お客様の方で端子台にスイッチを接続して利用して下さい。

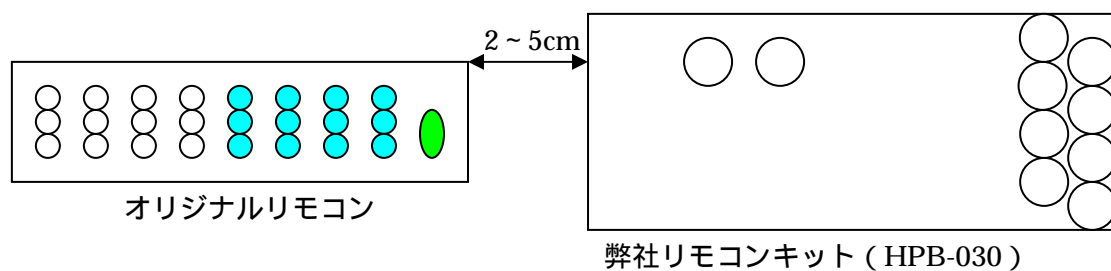
スイッチ付きの商品をご購入いただいた場合、そのまま利用することは可能ですが、使い方によってはお客様の方で端子の所にスイッチを半田付けして利用して下さい。

スイッチが取り付けられていないと、「きおく」及びマクロ設定は出来ませんので、ご了承下さい。



きおく登録 方法

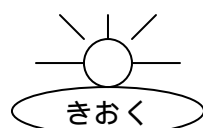
1. 「きおく」させるリモコン（オリジナルリモコン）と、「きおく」するリモコン（リモコンキット）の送受信兼用 LED を、お互い向かい合わせて置いてください。



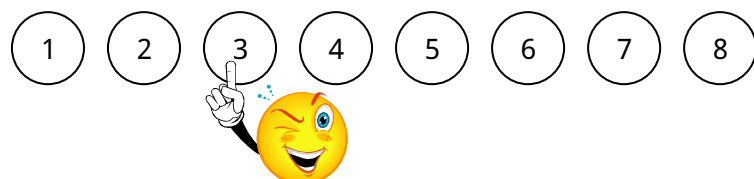
2. 「きおく」ボタンを 3 秒以上押します。



3. 「きおく」のランプがゆっくりと点滅します。



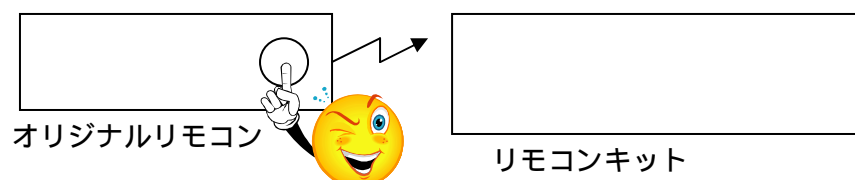
4. リモコンキットの 1 ~ 8 のいずれか、「きおく」をさせるボタンを押してください。



5. ランプが点滅から点灯に変わります。



6. 「きおく」したい信号を送信してください。きおく LED が消灯するまでボタンを押し続けてください。



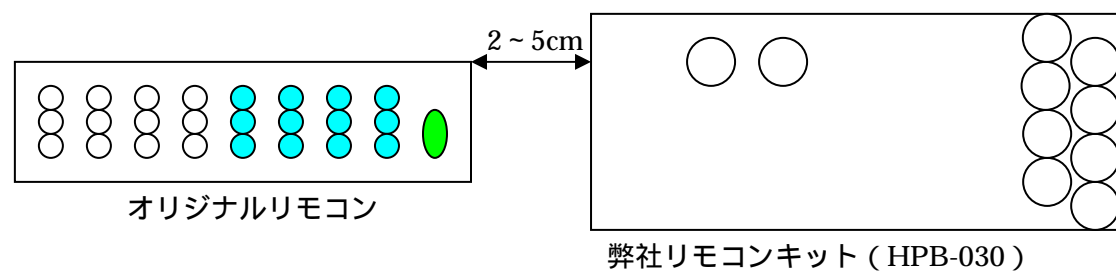
「きおく」LED が 5 回点滅した場合、何らかの原因で「きおく」に失敗しました。手順 3 から再度「きおく」を行ってください。

「きおく」およびマクロ LED が 5 回点滅した場合、電池が消耗していたため「きおく」を行えませんでした。新しい電池に入れ替えて、再度「きおく」を行ってください。

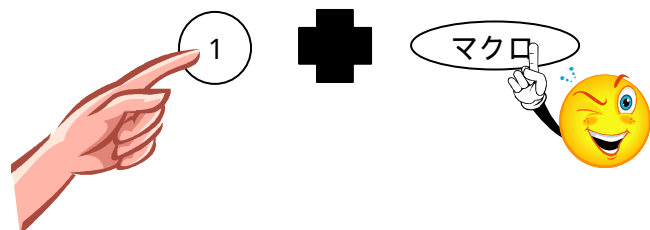
7. 「きおく」を終了したい場合は、「きおく」ボタンを押してください。他のボタンにも「きおく」を行いたい場合は、手順 3 から継続してください。

きおく登録 方法 きおく登録 で、きおくが出来なかった場合におためし下さい。

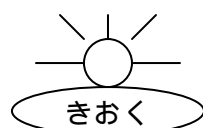
1. 「きおく」させるリモコン（オリジナルリモコン）と、「きおく」するリモコン（リモコンキット）の送受信兼用 LED を、お互い向かい合わせて置いてください。



2. ボタン1を押しながら、マクロボタンを3秒以上押します。



3. 「きおく」のランプがゆっくりと点滅します。



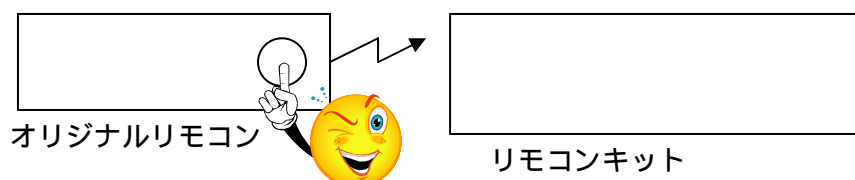
4. リモコンキットの1～8のいずれか、「きおく」をさせるボタンを押してください。



5. ランプが点滅から点灯に変わります。



6. 「きおく」したい信号を送信してください。きおく LED が消灯するまでボタンを押し続けてください。



「きおく」LED が5回点滅した場合、何らかの原因で「きおく」に失敗しました。手順3から再度「きおく」を行ってください。

「きおく」およびマクロ LED が5回点滅した場合、電池が消耗していたため「きおく」を行えませんでした。新しい電池に入れ替えて、再度「きおく」を行ってください。

7. 「きおく」を終了したい場合は、「きおく」ボタンを押してください。他のボタンにも「きおく」を行いたい場合は、手順3から継続してください。

きおく登録 は、信号をそのままきおく、送信するものです。本来のリモコンと異なる動作をする場合があります。

動作を確認してご使用ください。

きおく登録 できおいたキーでは連続送信はできません。

マクロ設定方法（このマクロ機能は必要事項ではありませんが、便利な機能です）

- マクロ機能 -

最大 10 ステップまでの操作プログラム(マクロ)を未設定のボタンに登録することが出来ます。

マクロを設定するには、「きおく」されたボタンが一つ以上必要です。

マクロの設定例

TV の電源が OFF の状態から、ボタンを 1 回押して NHK を見る場合。

電源 入力選択 2 桁の数字入力が必要とする TV を利用している場合の例。

1．リモコンキットのボタンに、以下の信号が「きおく」されているとします。

1：電源

5：アナログ

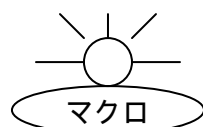
3：1

2：0

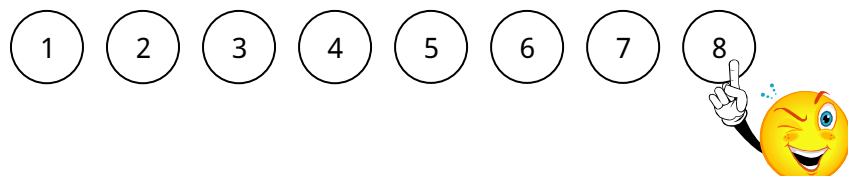
2．マクロボタンを 3 秒以上押します。



3．マクロのランプがゆっくりと点滅します。



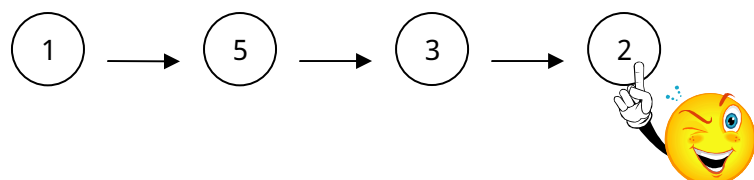
4．1～8 の、いずれかマクロを設定したいボタンを押します。ただし、「きおく」されているボタンは選択できません。



5．ランプが点滅から点灯に変わります。



6．マクロ登録するボタンを順番に押してってください。ただし、「きおく」していないボタン及びマクロ設定済みボタンはマクロに登録できません。



7．登録するボタンを押し終わったら、マクロボタンを押して設定を完了してください。正常に登録が行われますと、LED が点滅状態になり、手順 3 の状態に戻ります。

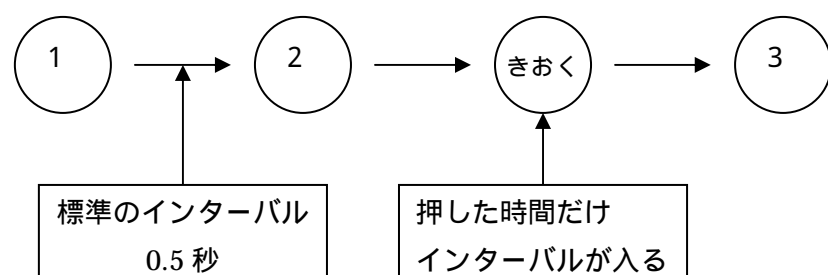
「きおく」およびマクロ LED が 5 回点滅した場合、電池が消耗していたためマクロの設定を行えませんでした。新しい電池に入れ替えて、再度「マクロ」の設定を行ってください。

10 ステップ登録しますと、自動でマクロ設定を抜けて送信可能状態に戻ります。

8．マクロの設定を終了したい場合は、マクロボタンを押してください。マクロの設定を継続したい場合は、手順 3 から継続してください。

インターバルの設定

インターバルとは、マクロを設定した際に信号と信号の間に入れられる待ち時間のことです。たとえば TV の電源を入れてから次の操作を行えるようになるまで数秒かかる場合、インターバルを設定しないと次の操作が可能になる前に信号を送信してしまうためにチャンネルが切り替わらないということになりますが、このインターバルを設定することで正常に操作を行えるようになります。



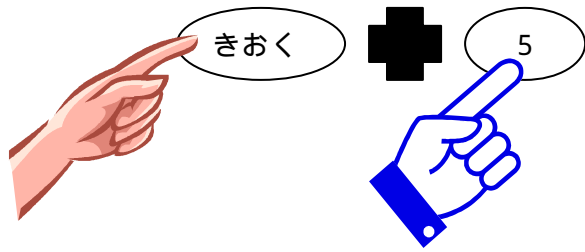
- 1 . マクロ登録時に 2 ボタンと 3 ボタンの間にインターバルを設定したい場合、2 ボタンを押した後で、「きおく」/インターバルボタンを押します。このときおくのランプが点灯します。
- 2 . 「きおく」/インターバルボタンを押してランプが点灯している時間が、インターバルとして設定されます。

インターバルを設定しない場合、標準では 0.5 秒が設定されます。

登録後に変更することは出来ません。

「きおく」を消去する

1. 「きおく」ボタンを押しながら消去対象のボタンを押して、3秒以上押し続けます。



2. 消去が成功すると、「きおく」LEDが2回点滅します。

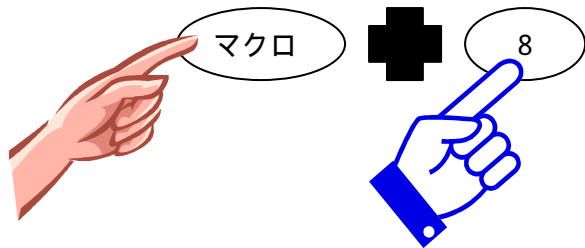
マクロ登録ボタンは消去できません。

マクロボタン、未登録ボタン、または何らかの理由により消去できなかった場合、「きおく」LEDが5回点滅します。

電池が消耗している場合、「きおく」およびマクロLEDが5回点滅します。この場合「きおく」の消去が出来ていないので、新しい電池と入れ替えて再度「きおく」の消去の手順を行ってください。

マクロ登録を消去する

1. マクロボタンを押しながら消去対象のボタンを押して、3秒以上押し続けます。



2. 消去が成功すると、マクロLEDが2回点滅します。

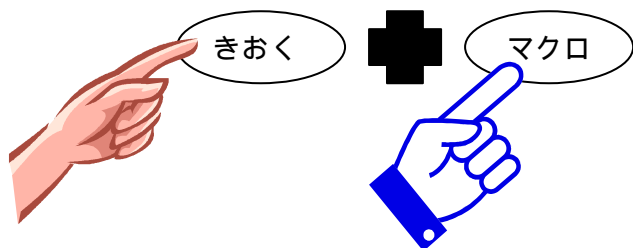
「きおく」させたボタンは消去できません。

「きおく」ボタン、未登録ボタン、または何らかの理由により消去できなかった場合、マクロLEDが5回点滅します。

電池が消耗している場合、「きおく」およびマクロLEDが5回点滅します。この場合マクロの消去が出来ていないので、新しい電池と入れ替えて再度マクロの消去の手順を行ってください。

きおくとマクロの両方を全て消去する（オールクリア）

1. 「きおく」ボタンを押しながらマクロボタンを押して、3秒以上押し続けます。



2. 消去が成功すると、「きおく」とマクロのランプが2回点滅します。

電池が消耗している場合、「きおく」およびマクロLEDが5回点滅します。この場合「きおく」およびマクロの消去が出来ていないので、新しい電池と入れ替えて再度オールクリアの手順を行ってください。

端子台に取り付け、使用可能なボタン

押すと ON、離すと OFF になるボタン

押したときに接続されるボタンです。一般的なボタンで市販されているボタンはほとんどこのタイプになります。

利用できないボタン

押すと OFF、離すと ON になるボタン

押したときに切り離されるボタンです。

押すたびに ON と OFF を入れ替えるボタン

TV 等の主電源に使われることが多いです。押した後ボタンが凹んだままになるものはほとんどがこのタイプになります。

押した瞬間のみ ON 又は OFF になるボタン

ほとんど出回っていないため通常見ることはありません。

ON と OFF が独立しているボタン

ON を押すと OFF が戻り、OFF を押すと ON が戻るボタンです。

その他特殊なボタン

上記以外のボタンやスイッチになります。

故障かな？ と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。

それでも正しく動作しないときは、ヘルツまでお問い合わせ下さい。

症状	処置
学習できない	学習モードに入っているか確認してください。
	お互いにリモコンを向かい合わせているか、方向を確認してください。
	学習しようとしているボタンに、既に他の学習が入っていないか確認してください。
	学習しようとしているボタンに、既にマクロが設定されていないか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗している場合、学習できません。
マクロが設定出来ない	マクロ設定モードに入っているか確認してください。
	マクロ登録しようとしているボタンに学習されているか確認してください。
	マクロ登録しようとしているボタンに、既に他の学習が入っていないか確認してください。
	マクロ登録しようとしているボタンに、既に他のマクロが設定されていないか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗している場合マクロ設定できません。
信号が送信されない	学習されているか確認してください。
	正しく学習されているか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。
きおく / マクロが消えない	きおく / マクロボタンを押しながら指定のボタンを押しているか確認してください。
	消去しようとしているボタンにきおく / マクロ設定されているか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗している場合消去できません。
オールクリアできない	ボタンを押す手順が間違えていないか確認してください。
	電池が消耗していないか確認してください。電池が消耗している場合オールクリアが実行できません。
インターバルが設定できない	マクロ設定中インターバルを入れたいところで「きおく」ボタンを、インターバルを入れたい時間だけ押してください。
	最初の信号の前及び最後の信号の後にインターバルは追加できません。

良くあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用下さい。 <http://www.hertz-e.co.jp/>

問い合わせ先

株式会社ヘルツ

〒940-0084

新潟県長岡市幸町 1-9-1

TEL:0258-31-2375

FAX:0258-31-2376

Mail:info1@hertz-e.co.jp

URI:<http://www.hertz-e.co.jp/>